

素描画

あなたがほぐれた素なるあなたに…



手仕事屋 きち兵衛

いつの間にか身に付いてしまったしからみや飾りを捨てて、

改めてシンプルを自分を見つめてみたい。

素描画

あなたがほぐれた素なるあなたに…

手仕事屋 きち兵衛

アコースティックギター 小畑和彦

手仕事屋 きち兵衛

素描画

あなたがほぐれた素なるあなたに…

ST-11002
¥1,800

アコースティックギターの優しい調べによって、伸びやかなボーカルが響きわたる今回の作品は手仕事屋きち兵衛の音楽の原点へ戻り、汚れの無いありのままの気持ちを歌にした作品です。

1. わすれ雪
 2. 小さな酒場
 3. 長い夜
 4. おしえてあなたのすべてを
 5. 安曇野
- * ボーナストラック
わすれ雪 (安曇野バージョン)



ACTIVE DESIGN
K-FLAME
Space Corporation 02000 STEREO

00:2:10 00:2:09

定価 ¥1,800 (税込)

このCDは、一歩踏み出す勇気と情熱の結晶です。この瞬間の感動も、将来の自分へ大きな励みに変換してください。また、ご購入の際は必ずこのCDのジャケットに貼られたシールを大切に保管してください。このCDは、著作権法で定められています。



わすれ雪

雪が降る今日も降る
巻のざわめき消して降る
夜の雪は優しく降る

できるならこの胸の
痛み消して積まれ

あなたのあの面影
隠して積もって消してしまえ
わすれ雪になれ

律せになりたくて
みつめて来たのはあなただけ
いつの間にか信じていた

あなたとのささやかな
あたりまえの暮らし

あなたを愛していた
あの日も季節に埋もれてゆく
忘れられないのに

未練なら消してくれ
冷たくやさしいわすれ雪
そっと積まれ止まらずに降れ

燃えている残り火の
上にそっと積まれ

あなたが残していった
思い出包んで溶かしてくれ
わすれ雪になれ

小さな酒場

酔いにまかせて眠りたくて グラスをかたむける
都会の隅の小さな酒場は 無口なままがいい
夜に抱かれて酒におぼれて あの日の夢に落ちてゆく
ゆらゆらとゆらめいた明かりの中に 失くした面影探してる

きれいな夢を 見たいのなら 夜にかくれたまま
過去のことも昼間の素顔も知らない方がいい
それが都会の恋のルールとほ々づえついて呟いた
あのひとの横顔にからんでのぼるタバコの煙りを見つめてた

よる
今晚もこうして同じ場所で 同じ椅子に座る
グラスも酒もあの晩のように同じ顔をしてる

うつろいやすい都会の中でこの酒場だけは変わらずに
ほの暗い絵の中に落ちてゆくようでくすんだ壁にもたれてる

うつろいやすい都会の中でこの酒場だけは変わらずに
ほの暗い絵の中に落ちてゆくようでくすんだ壁にもたれてる



長い夜

あなたがかすめて眠れない夜は
水刺り片手の恋心

飲むほど酔うほど熱くさらに熱くほてる心持ち

夜咲く街の灯なまめいて揺れる
ほろ酔うあなたの目のようだ

気まぐれ遊びと気取ってみたけど
遊びにするにはやけにづらい

大人と大人のほんの洒落た恋と片付けたいけど

男と女を引きつけるものは
理由のつかない運命系

あなたが好きです傍に眠りたい
一人のこの夜長すぎる

あなたと飲みたい酒も夜も朝も恋も時さえも

あなたが好きです傍に眠りたい
一人のこの夜長すぎる

あなたと飲みたい酒も夜も朝も恋も時さえも

あなたが好きです傍に眠りたい
一人のこの夜長すぎる

おしえてあなたのすべてを

どうしてあなたはいつも遠くを見つめているの
わたしが傍に居る時も心を見せない

おしえてあなたのすべてを
聞かせておねがい

けれどもあなたは何もおしえてくれない
こんなにあなたのことを気にしているのに

どうしてあなたのことを尋ねちゃいけないの
わたしのことはもういいのあなたが居るなら

おしえてあなたのすべてを
聞かせておねがい

あなたのふる星のことを想いを悩みを
いつでもあなたのことを気にしているから

どうしてあなたを想って気にしちゃういけないの
二人で明日を見つめて歩いてみたいの

おしえてあなたのすべてを
聞かせておねがい

あなたの世界を夢を望みを願いを
いつまでもあなたのことを気にしてゆくから

おしえてあなたのすべてを
聞かせておねがい

あなたの世界を夢を望みを願いを
いつまでもあなたのことを気にしてゆくから

安曇野

静かなせせらぎ浴いに 花びらをこぼして
咲く花オオヤマザクラ 髪にもふりかかる
うらうらと歩く小道 ふと見上げれば
雪形残る山並み 春の日安曇野

沸き立つ雲を焦がして 陽射しが降り注ぐ
隠れた木立の中に 激しい蝉時雨
木漏れ日浴びた体に 涼風吹けば
想わず目と同じている 夏の日安曇野

高く抜けた青空に 速のく違い雲
旅立つ鳥遠文じり 遙かにかすんでる
まばゆい紅葉嵐も 通り過ぎれば
うら寂しさ連れてくる 秋の日安曇野

墨絵を覗いているような 砂絵を覗くような
静かに時さえ止めて 一面銀景色
粉雪吹雪がやんで 夜が降りれば
星粒がつかめそうな 冬の日安曇野

ここがわたしのふる里 ここに帰れば
すべてが優しくなれる わたしの安曇野
わたしの安曇野

手仕事屋 きち兵衛

1. わすれ雪 (5分30秒) 作詞・作曲：手仕事屋きち兵衛
 2. 小さな酒場 (4分54秒) 作詞・作曲：手仕事屋きち兵衛
 3. 長い夜 (3分34秒) 作詞・作曲：手仕事屋きち兵衛
 4. おしえてあなたのすべてを (4分58秒) 作詞・作曲：手仕事屋きち兵衛
 5. 安曇野 (4分34秒) 作詞・作曲：手仕事屋きち兵衛
- * ボーナストラック
- わすれ雪 (安曇野バージョン) (5分29秒) 作詞・作曲：手仕事屋きち兵衛



サウンドプロデューサー：小畑 和彦
ボーカル&コーラス：手仕事屋きち兵衛
ギターアレンジ&ギター：小畑 和彦
：手仕事屋きち兵衛
スーパーバイザー：榊島寿太郎
：高橋 卓志
：野沢 露代
：藤田 純夫
レコーディング・エンジニア：迫 弘文
フォトグラファー：宮下 常雄
ジャケットデザイナー：丸川 幸之
レコーディング・スタジオ：クリアウォータースタジオ
リトルバッチ小淵沢
ディレクター：千田 裕之

スペシャルサンクス：
株式会社スーパーキャスト
本誌の編集サポート実行委員会
ホテル玉の湯、青野 栄治、赤沼 千史、原田 崇
(株)綜合印刷

問い合わせ先 (コンサート&スケジュール)
(株) スーパーキャスト 026-263-1110